

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

愛媛県西条市 西条市立周桑病院

| 法適用区分        | 業種名・事業名               | 病院区分    | 類似区分          | 管理者の情報     |
|--------------|-----------------------|---------|---------------|------------|
| 当然財務         | 病院事業                  | 一般病院    | 100床以上～200床未満 | 非設置        |
| 経営形態         | 診療科数                  | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1     | 指定病院の状況 ※2 |
| 指定管理者(利用料金制) | 16                    | 対象      | ド             | 救臨輸        |
| 人口(人)        | 建物面積(m <sup>2</sup> ) | 不採算地区病院 | 看護配置          |            |
| 108,961      | 19,355                | 非該当     | 10:1          |            |

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

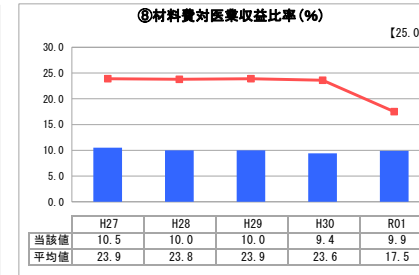
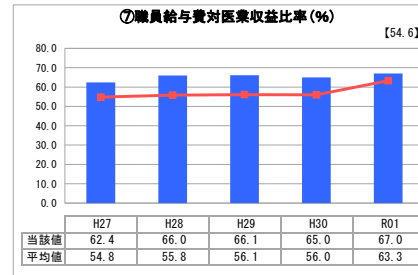
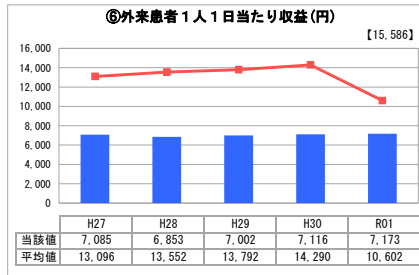
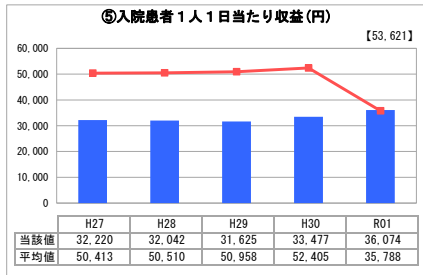
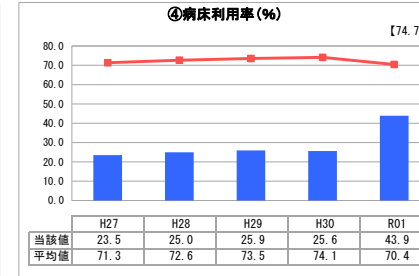
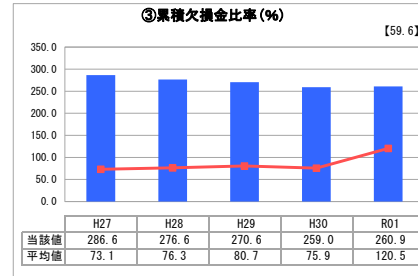
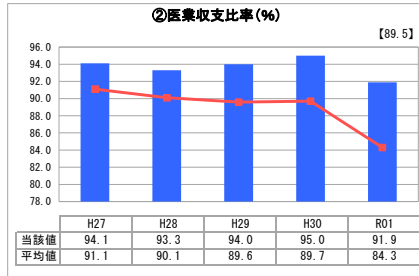
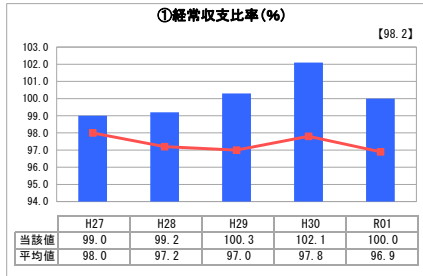
| 許可病床(一般) | 許可病床(療養)  | 許可病床(結核)    |
|----------|-----------|-------------|
| 185      | -         | -           |
| 許可病床(精神) | 許可病床(感染症) | 許可病床(合計)    |
| -        | -         | 185         |
| 稼働病床(一般) | 稼働病床(療養)  | 稼働病床(一般+療養) |
| 108      | -         | 108         |

グラフ凡例

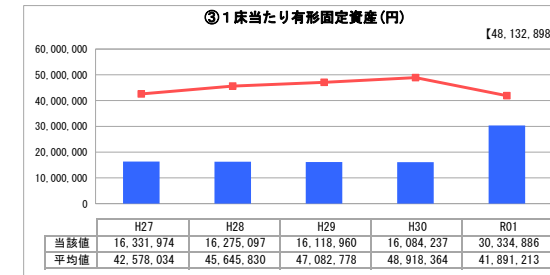
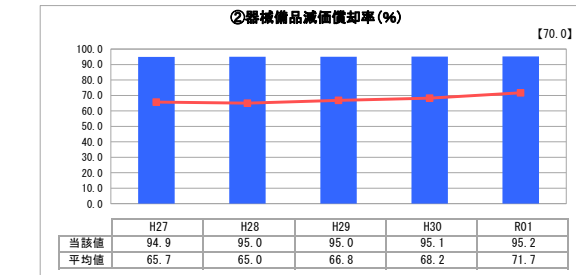
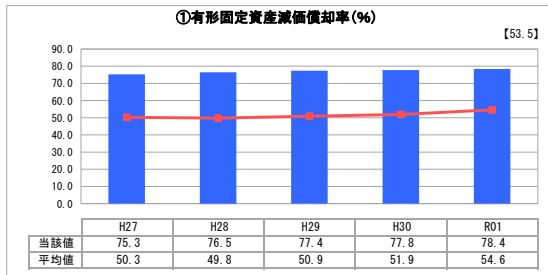
- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)

【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

| 医福・ネットワーク化 | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|------------|-----------|-----------|
| -          | -         | 平成22      |
| 年度         | 年度        | 年度        |

## I 地域において担っている役割

市内唯一の公立病院として、二次救急医療に係る病院群輪番制病院として、採算性が低く民間病院では実施が困難な政策的な医療を担っている。また、災害発生時には、市防災計画や医療救護活動要領等に基づき、医療救護活動及び医療救護班の派遣を行うこととしている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

指定管理者制度による病院の運営ベースでは黒字の状況である。収入が市一般会計からの繰出のみで、現金を伴う支出に対するものし認められないことから赤字となっている市の病院事業会計と合わせて令和元年度は前年度に引き継ぎ、経常収支比率100%を達成している。医療収支比率は、感念対策費増徴及び入院患者数の減少により、前年度に比べ低下がみられる。累積欠損金については、指定管理者制度導入前からの累積金である。病床利用率については、一般病室の個室化などの整備による利用環境の改善や、休床状態であった精神科病床を廃止したことなどにより、前年度より大きく改善されている。指定管理者制度導入により、職員数等の見直しなどを実施し、市一般会計からの繰出は大幅に改善されたものの、医師不足などにより、入外来患者の増加には繋がらず、近年は医療収支はほぼ横ばいの状況が続いている。

### 2. 老朽化の状況について

病院施設については、一部施設が昭和後期に建設されたものもあり、経年劣化がみられる。医療設備についても指定管理者による更新は進められているものの、市直営時代の設備も多くあり全体的には老朽化が進んでいる。

### 全体総括

指定管理者制度導入により、病院の経営状況は改善されているものの、医師不足による診療科の休診や令和2年2月からの新型コロナウイルス感染症による影響などにより、入院・外来患者数は前年度に比べ減少している。新型コロナウイルス感染症への対策は必要ではあるが、根本的な病院の経営状況の改善のためには、大学との連携や市の医師確保奨学金などにより医師の育成、受入に努めていく必要がある。

施設については、多額の更新費用を要することから、維持管理修繕により施設の長寿命化を図っている。医療設備については診療に支障をきたさぬよう順次計画的な更新に努めている。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。